全国障害者問題研究会 第49回全国大会 岐阜2015 速報用特設ページです。 こちらからどうぞ 岐阜教組のHPを貸りています。







参加者突撃インタビュー。

茨城県から来た寺門さん。 7年前には茨城で開催し、 みなさんにきていただきま した!今回は、学びの作業 所の二箇所目[シャンティ

つくば]を開設したことを

報告にきました!関東でも頑張って広めます。暑い中ですが、戦争はいけないという 意味も含めて大きく成功させたいですね。 速報係の突撃インタビュー! 声をかけられたら、答え てね(^_^)



劇団ドキドキわくわく

则人一廿几铅介

最初は、いのちの理由 のソロから始まります。何のために生まれてきたのか?の問いかけに、友だちみんなと出会うため・愛しいあなたに出会うため~と5人の仲間で答えます。次



に、前座長の中村進一さんが登場して、劇団の仲間たちは、「幸せになるために、愛しい人に出会うために、私たちは愛と性の学習を劇を通して続けてきた」ことを語ってくれます。いよいよ、『好き!好き!マイラブ!』のスタートです。劇の主役決めを巡る出来事から、、、、、。エンディングのダンスでは、勢揃いで、CHOO CHOO TRAIN の曲にのせて30人を超える勢揃いでダンス。幸子と健太を中央に。ご期待あれ!!



































参加者突撃インタビュー2



青森県から参加の工藤さん。自分も障害がある中ですが、1人で行こうと決めて参加しました。早めにまたら真夜中に岐阜

駅に着いてしまいホテルもとっていなくて 困っていたら、若者が五人来てホテルをス マホで探してくれました。優しい若者達で 嬉しかったです。



(東京 写真家)高橋

友人から声をかけてもらい、撮影ボランティアをします。・・・・「劇団ドキドキわくわく」・・彼らの集大成の舞台にご一緒させて頂き、私自身も大いに羽ばたくエネルギーをいただけることを期待しています。

参加者突撃インタビュー3



広島県から参加の盛次さん。1人で新幹線に乗ってきました!大会参加ニ回目の今回はポートを持ってき加です。在宅の問

題点や地域格差の問題をま とめてきました。しっかり 学んでいきたいです。





今年の大会記念グッ ズは、クリアファイ ルと、付箋です。

デザインをしてくれた広江凌さんは、大垣特別支援学校の高等部2年生。大会前に新聞や放送局からの取材を受け、人気沸騰中!です。購入してくださった方には、サイン会もあります。

からいうちん」の話の

岐阜が誇る伝統工芸「岐阜ちょうちん」。全障研岐阜支部発足以来の機関誌名にもなっている「ちょうちん」。今回の「速報」もタイトルに採用されています。長良川にちなんで「清流」にしようか、地名から「金華」は?等多くの案。すったもんだする中で、「支部の機関誌名ちょうちんでいいんじゃないか」という土岐支部長のまとめで決定となりました。



Gifu Paper Lanternは300年以上の歴史があり、伝統工芸品に指定されています。職人さんの技で、灯りを灯し続けています。「岐阜ちょうちん」は、無形文化遺産でもある「美濃和紙」を使い、張り・擦りこみ・盛り上げなどの工程があります。ひごを骨として、周りに和紙を張り、中にろうそくをつける。闇夜にも灯りを灯す。風情がありますね。

































